

# 全国中小企業動向調査結果

(2015年10-12月期実績、2016年1-3月期以降見通し)

## 小企業の景況

(原則従業員20人未満)

小企業の景況は、先行き懸念はみられるものの、  
持ち直しの動きが続いている

(前回)持ち直しの動きが緩やかになっている

- 業況判断DIは、マイナス幅が縮小し、▲24.2となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 5ページ
- 売上DIは、マイナス幅が縮小し、▲19.6となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 10ページ
- 採算DIは、マイナス幅が縮小し、▲8.4となった。  
来期はマイナス幅が拡大する見通し。 ← 11ページ

■ 主要DI(カッコ内は前回調査からの変動幅)

| 業況判断DI      | 売上DI        | 採算DI       | 資金繰りDI      | 借入DI     |
|-------------|-------------|------------|-------------|----------|
| ▲24.2(+2.6) | ▲19.6(+0.9) | ▲8.4(+6.4) | ▲19.5(+1.1) | ▲6.6(±0) |

## 中小企業の景況

(原則従業員20人以上)

中小企業の景況は、緩やかに回復している

(前回)緩やかに回復している

- 業況判断DIは、3期連続で上昇し、4.9となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 17ページ
- 売上DIは、3期ぶりに低下し、5.5となった。  
来期以降は上昇する見通し。 ← 20ページ
- 純益率DIは、3期連続で上昇し、1.1となった。  
来期は低下、来々期は上昇する見通し。 ← 21ページ

| 業況判断DI    | 売上DI      | 純益率DI     | 資金繰りDI    | 長期借入難易DI   |
|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 4.9(+0.2) | 5.5(-2.3) | 1.1(+2.1) | 7.8(+0.4) | 16.1(+1.7) |

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第二グループ Tel:03-3270-1691(担当:桑本、清野)  
中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1703(担当:金子、神谷)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

目次

調査結果の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

【小企業編】

概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3  
調査の実施要領・・・・・・・・・・・・ 4  
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・ 5  
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10  
採算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11  
資金繰り、借入・・・・・・・・・・・・ 12  
経営上の問題点・・・・・・・・・・・・ 13  
設備投資、価格動向・・・・・・・・・・ 14

【中小企業編】

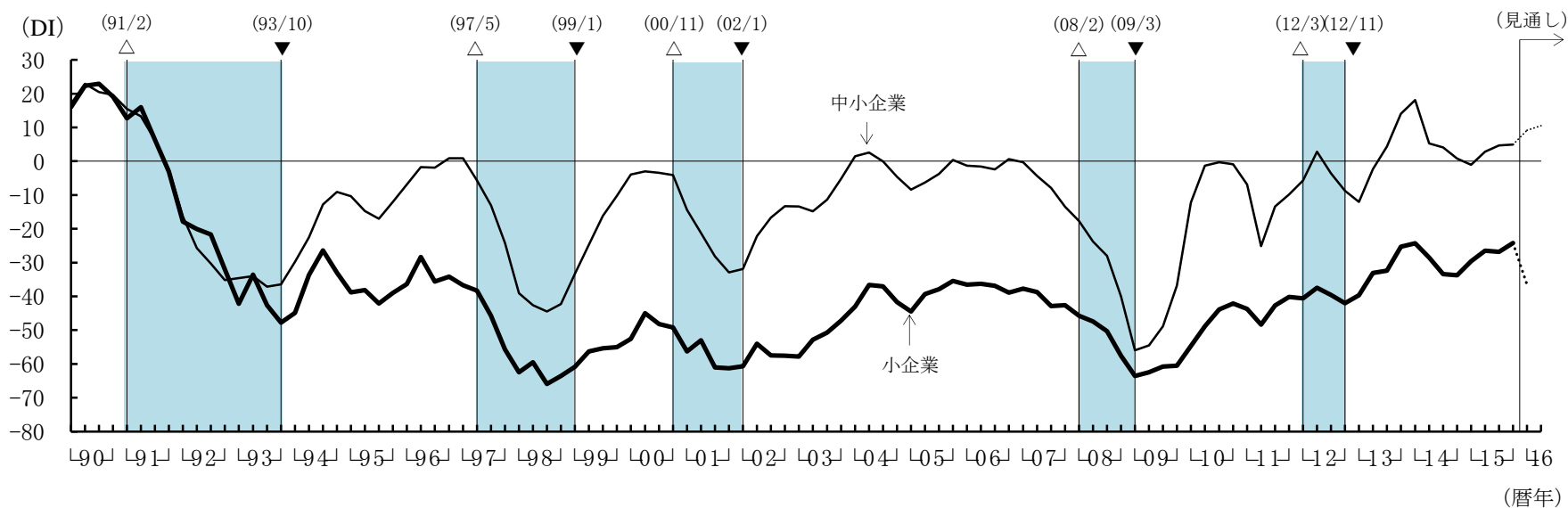
概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15  
調査の実施要領・・・・・・・・・・・・ 16  
業況判断・・・・・・・・・・・・・・・・ 17  
売上・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20  
利益・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21  
価格、金融関連・・・・・・・・・・・・ 22  
雇用、設備・・・・・・・・・・・・・・ 23  
経営上の問題点・・・・・・・・・・・・ 24

# 調査結果の概要

## 1 業況判断DIの推移

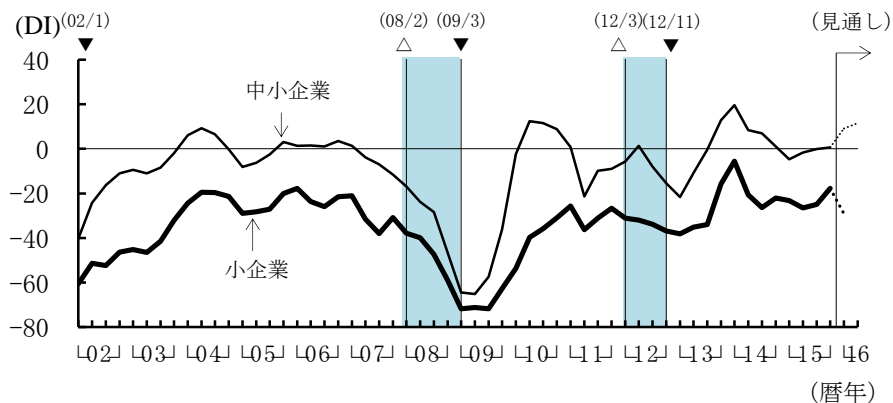
### ①全業種計

|      | 13.10-12 | 14.1-3 | 14.4-6 | 14.7-9 | 14.10-12 | 15.1-3 | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3<br>見通し | 16.4-6<br>見通し |
|------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|---------------|---------------|
| 中小企業 | 14.1     | 18.1   | 5.3    | 4.1    | 0.8      | ▲1.0   | 2.8    | 4.7    | 4.9      | 9.2           | 10.5          |
| 小企業  | ▲25.3    | ▲24.3  | ▲28.5  | ▲33.4  | ▲33.8    | ▲29.6  | ▲26.5  | ▲26.8  | ▲24.2    | ▲36.5         | -             |



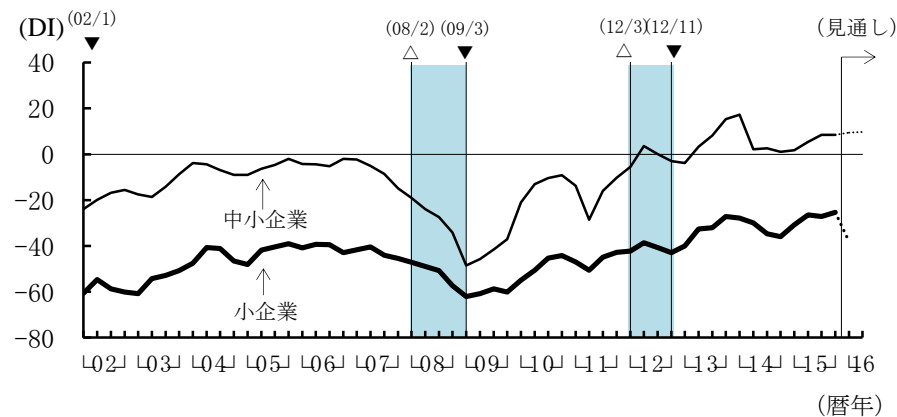
### ②製造業

|      | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3<br>見通し | 16.4-6<br>見通し |
|------|--------|--------|----------|---------------|---------------|
| 中小企業 | ▲1.6   | ▲0.1   | 0.6      | 9.1           | 11.6          |
| 小企業  | ▲26.5  | ▲25.0  | ▲17.7    | ▲29.1         | -             |



### ③非製造業

|      | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3<br>見通し | 16.4-6<br>見通し |
|------|--------|--------|----------|---------------|---------------|
| 中小企業 | 5.4    | 8.5    | 8.4      | 9.4           | 9.7           |
| 小企業  | ▲26.5  | ▲27.2  | ▲25.4    | ▲38.0         | -             |

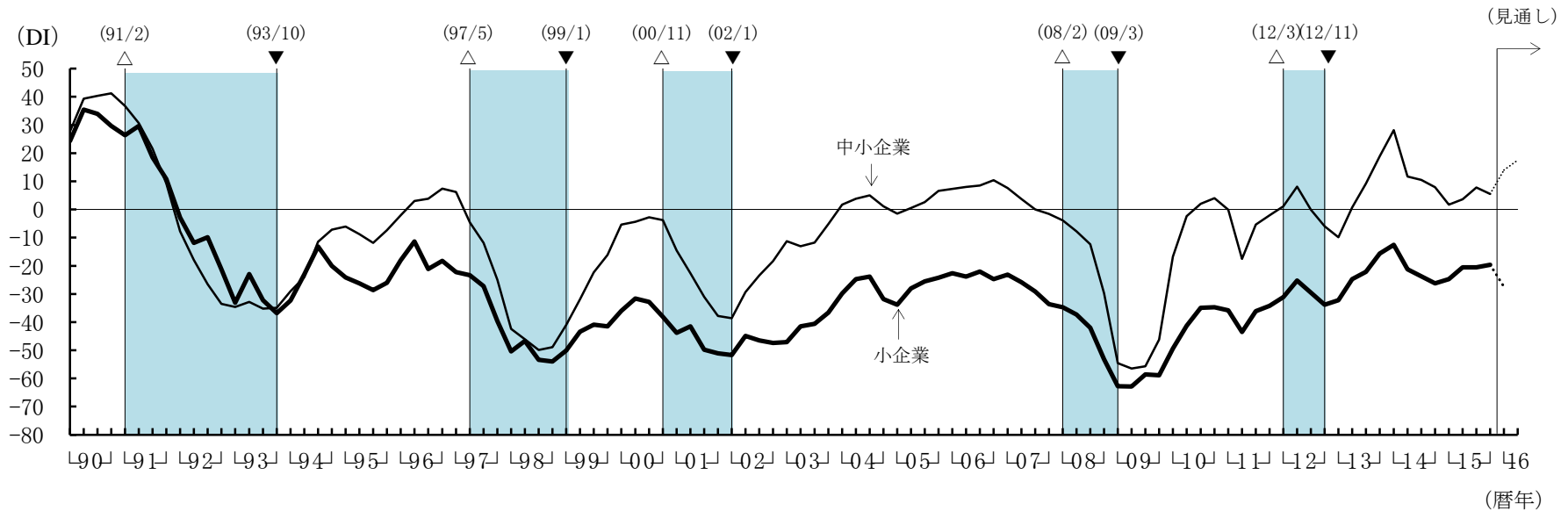


- (注) 1 小企業のDIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値(季節調整済)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャド一部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

## 2 売上DIの推移

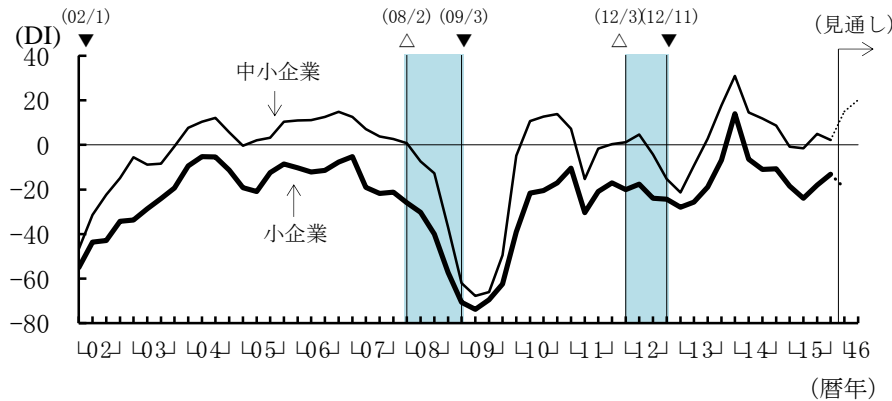
### ①全業種計

|      | 13.10-12 | 14.1-3 | 14.4-6 | 14.7-9 | 14.10-12 | 15.1-3 | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3<br>見通し | 16.4-6<br>見通し |
|------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|----------|---------------|---------------|
| 中小企業 | 18.9     | 28.2   | 11.7   | 10.5   | 7.9      | 1.7    | 3.6    | 7.8    | 5.5      | 14.0          | 17.5          |
| 小企業  | ▲15.6    | ▲12.5  | ▲21.3  | ▲23.8  | ▲26.2    | ▲24.7  | ▲20.5  | ▲20.5  | ▲19.6    | ▲27.4         | -             |



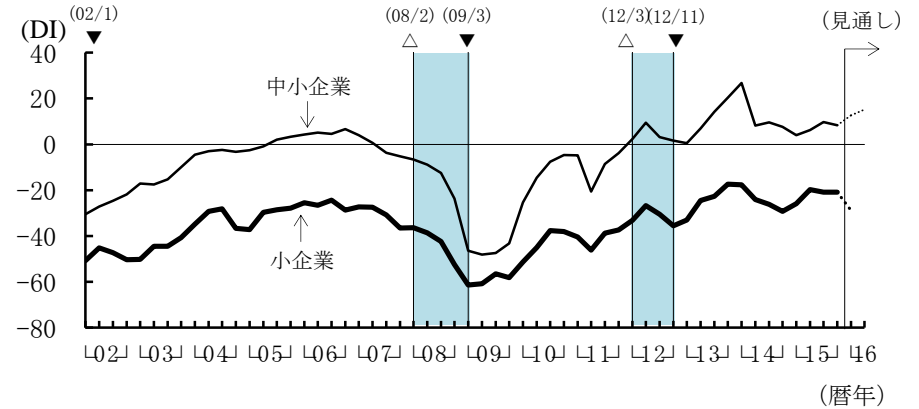
### ②製造業

|      | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3<br>見通し | 16.4-6<br>見通し |
|------|--------|--------|----------|---------------|---------------|
| 中小企業 | ▲1.5   | 5.0    | 2.2      | 15.0          | 20.2          |
| 小企業  | ▲24.0  | ▲18.1  | ▲13.1    | ▲19.3         | -             |



### ③非製造業

|      | 15.4-6 | 15.7-9 | 15.10-12 | 16.1-3<br>見通し | 16.4-6<br>見通し |
|------|--------|--------|----------|---------------|---------------|
| 中小企業 | 6.2    | 9.7    | 8.3      | 12.7          | 15.1          |
| 小企業  | ▲19.8  | ▲20.9  | ▲20.9    | ▲28.9         | -             |



- (注) 1 小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 中小企業のDIは、前年同期比で「増加」と回答した企業割合から「減少」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整済）。

# 小 企 業 編

(2015年10－12月期実績、2016年1－3月期見通し)

小企業の景況は、  
先行き懸念はみられるものの、持ち直しの動きが続いている

## [概況]

- ・ 業況判断DIは、前回調査（2015年7-9月期）に比べてマイナス幅が2.6ポイント縮小し、▲24.2となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・ 業種別にみると、製造業は2期連続でマイナス幅が縮小し、▲17.7となった。非製造業もマイナス幅が縮小し、▲25.4となった。来期は、製造業、非製造業ともに、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・ 売上DIは、マイナス幅が縮小した。来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- ・ 採算DIは、マイナス幅が縮小した。来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。

[調査の実施要領]

調査時点 2015年12月中旬  
 調査対象 当公庫取引先 10,000 企業  
 有効回答数 6,232 企業 [回答率 62.3 %]

<業種構成>

|         |            | 調査対象     | 有効回答数    |              |
|---------|------------|----------|----------|--------------|
| 製造業     | (従業者20人未満) | 1,500 企業 | 1,001 企業 | (構成比 16.1 %) |
| 卸売業     | (同 10人未満)  | 800 企業   | 509 企業   | (同 8.2 %)    |
| 小売業     | (同 10人未満)  | 2,450 企業 | 1,512 企業 | (同 24.3 %)   |
| 飲食店・宿泊業 | (同 10人未満)  | 1,800 企業 | 1,030 企業 | (同 16.5 %)   |
| サービス業   | (同 20人未満)  | 2,000 企業 | 1,259 企業 | (同 20.2 %)   |
| 情報通信業   | (同 20人未満)  | 160 企業   | 88 企業    | (同 1.4 %)    |
| 建設業     | (同 20人未満)  | 1,100 企業 | 703 企業   | (同 11.3 %)   |
| 運輸業     | (同 20人未満)  | 190 企業   | 130 企業   | (同 2.1 %)    |

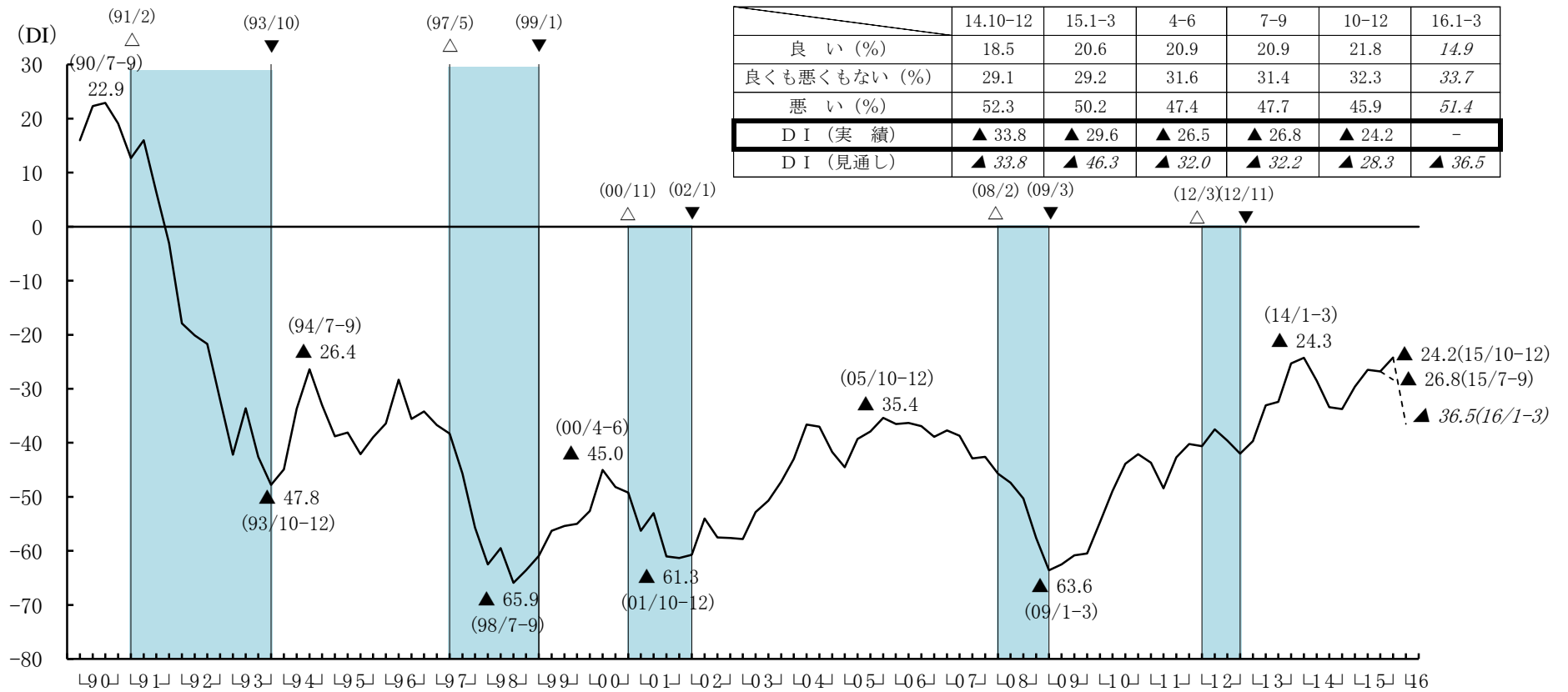
(参考)

|    |          |              |
|----|----------|--------------|
| 法人 | 4,048 企業 | (構成比 65.0 %) |
| 個人 | 2,184 企業 | (同 35.0 %)   |

# 1 業況判断

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（2015年7-9月期）に比べてマイナス幅が2.6ポイント縮小し、▲24.2となった。来期は、マイナス幅が拡大し、▲36.5となる見通しである。
- 業種別にみると、製造業は2期連続でマイナス幅が縮小し、▲17.7となった。非製造業もマイナス幅が縮小し、▲25.4となった。非製造業を構成する大分類業種のうち、飲食店・宿泊業と情報通信業を除く全ての業種でマイナス幅が縮小した。来期は、製造業、非製造業ともに、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- 地域別にみると、北海道、東京・南関東、東海、中国、四国、九州でマイナス幅が縮小した。来期は、全ての地域でマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

図－1 業況判断DIの推移（全業種計）

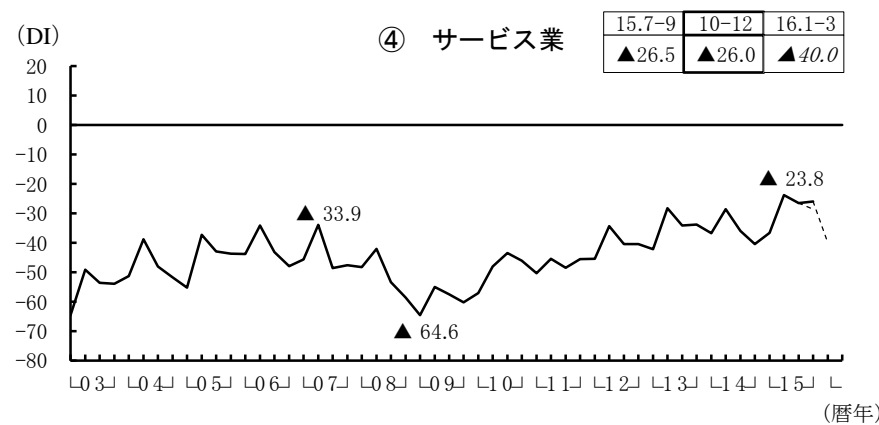
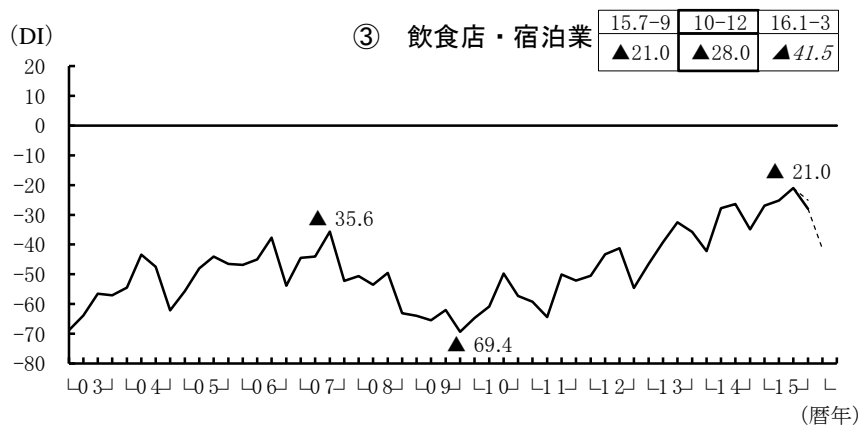
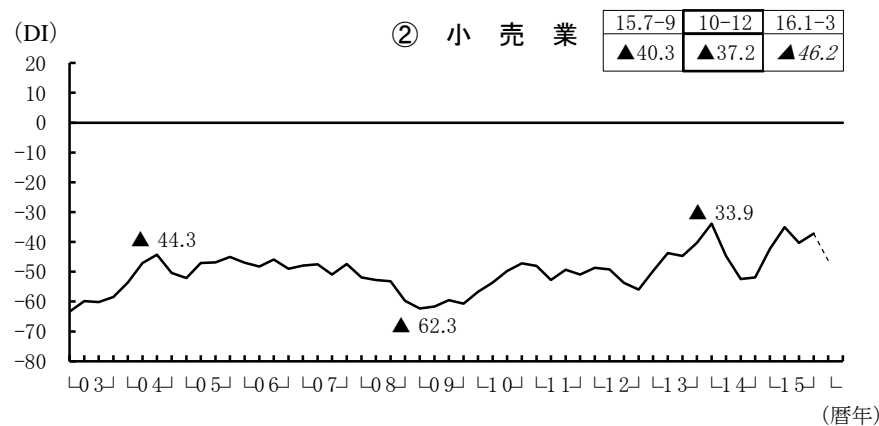
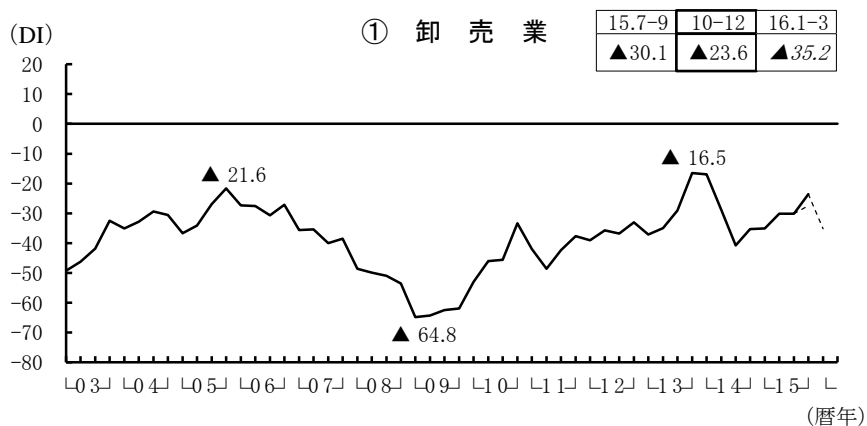
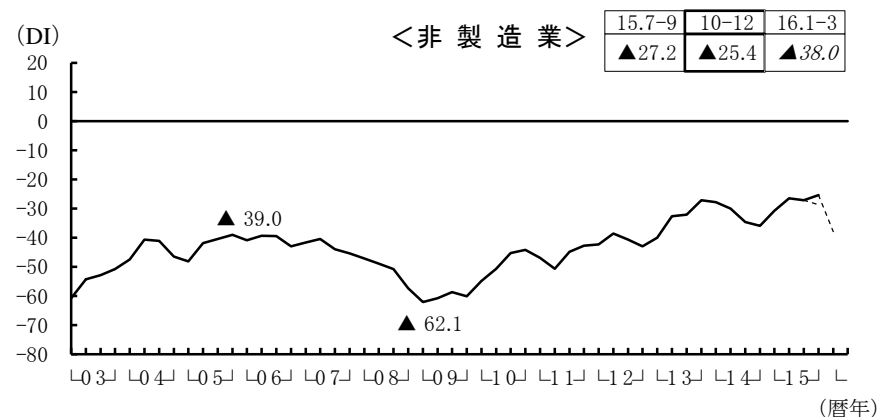
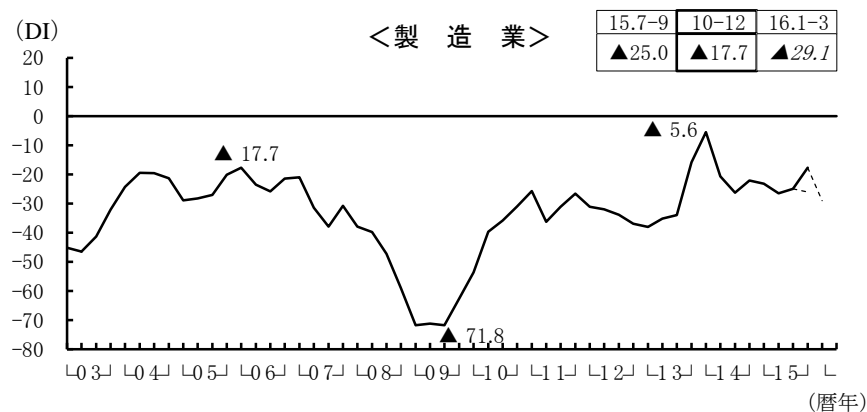


(注) 1 DIは、調査対象企業の業況が「良い」と回答した企業割合から「悪い」と回答した企業割合を差し引いた値。

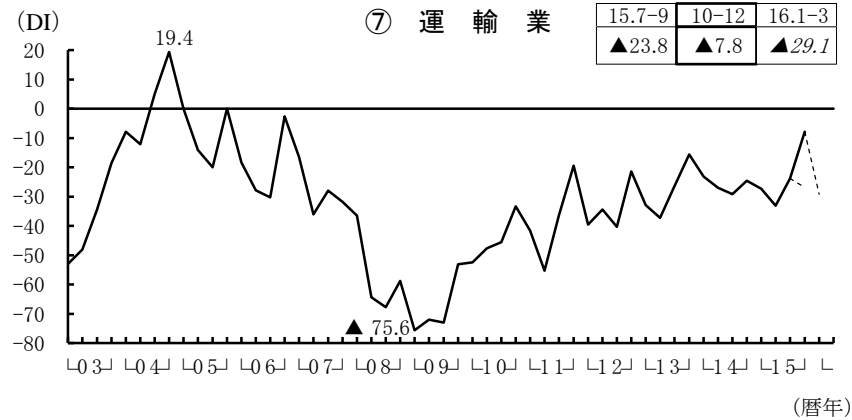
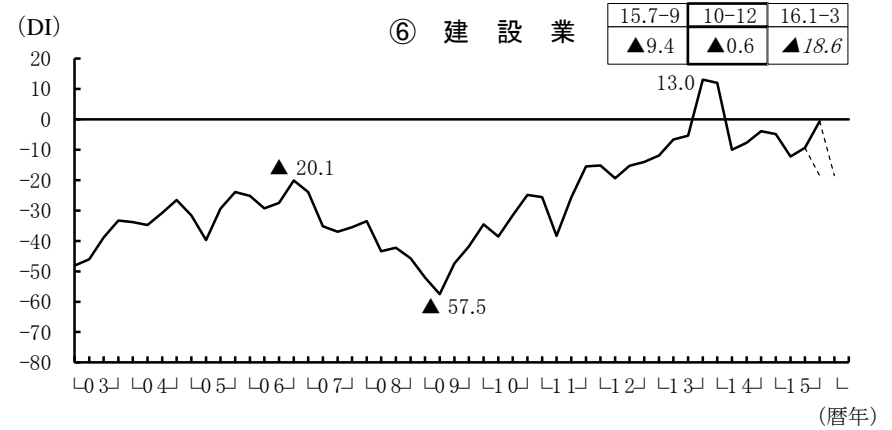
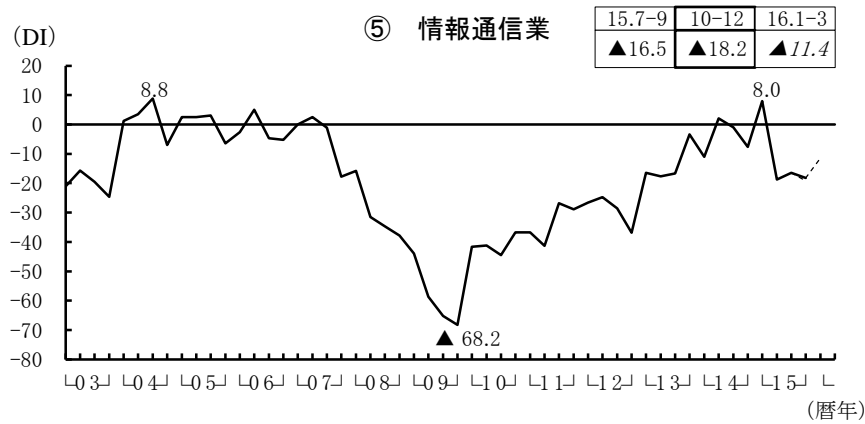
2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

(暦年)

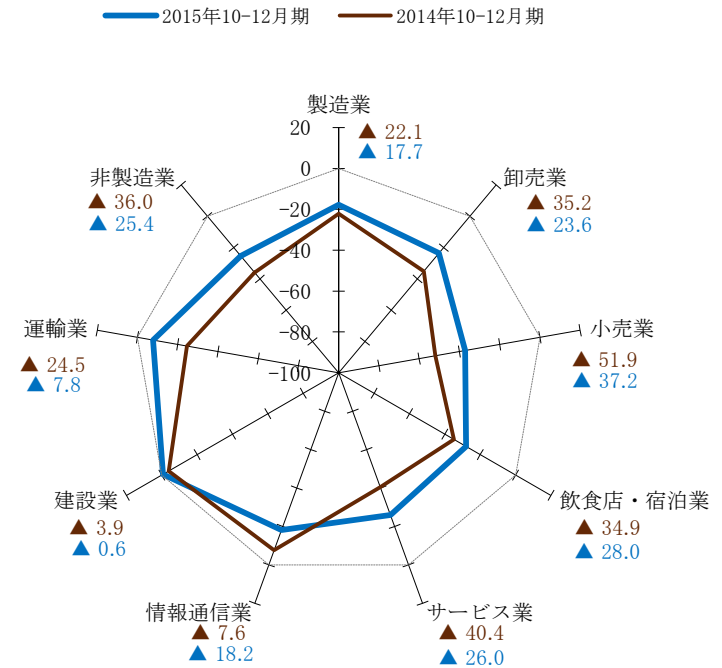
図－２ 業種別業況判断DIの推移



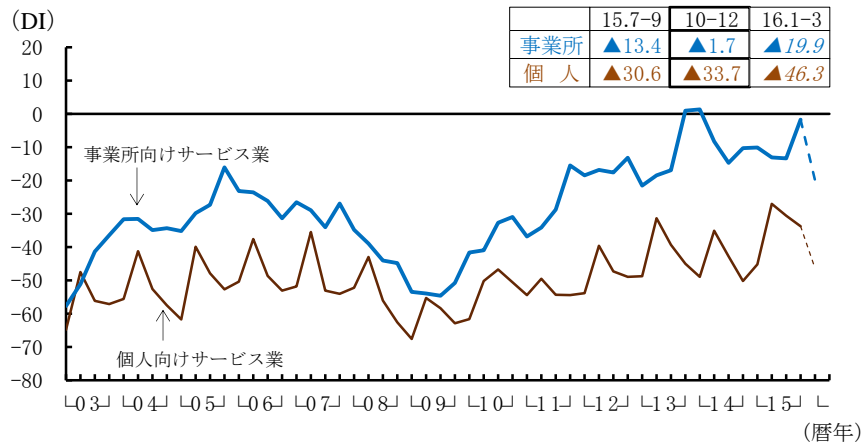




(参考2) 1年前 (2014年10-12月期) の水準との比較

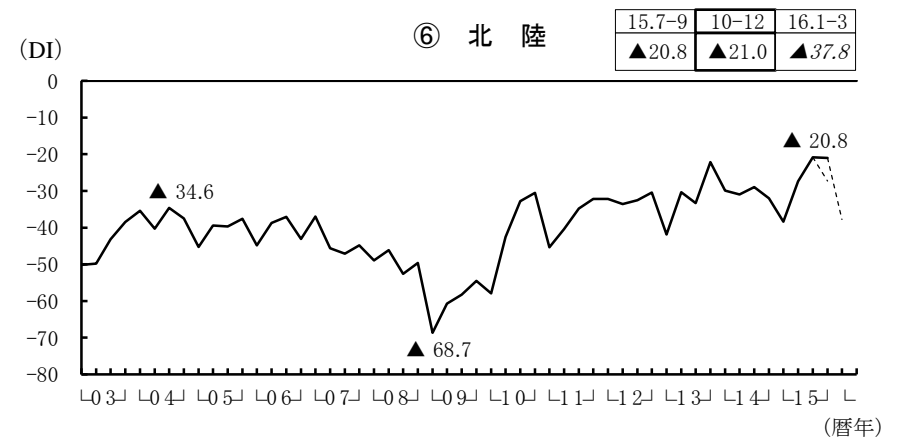
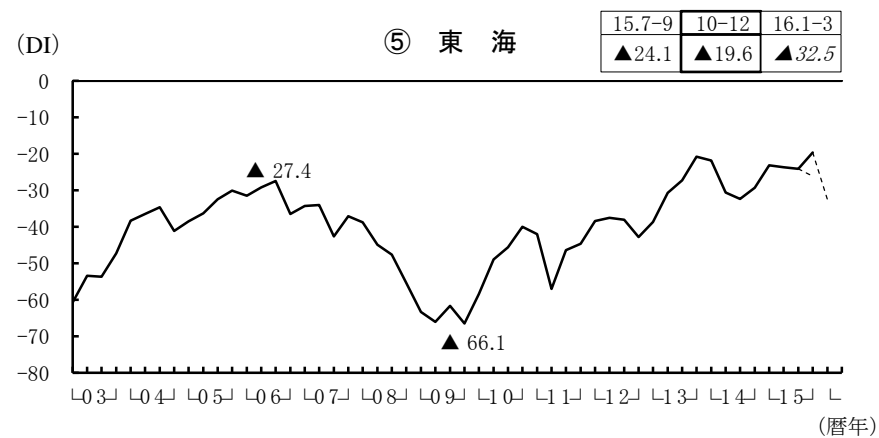
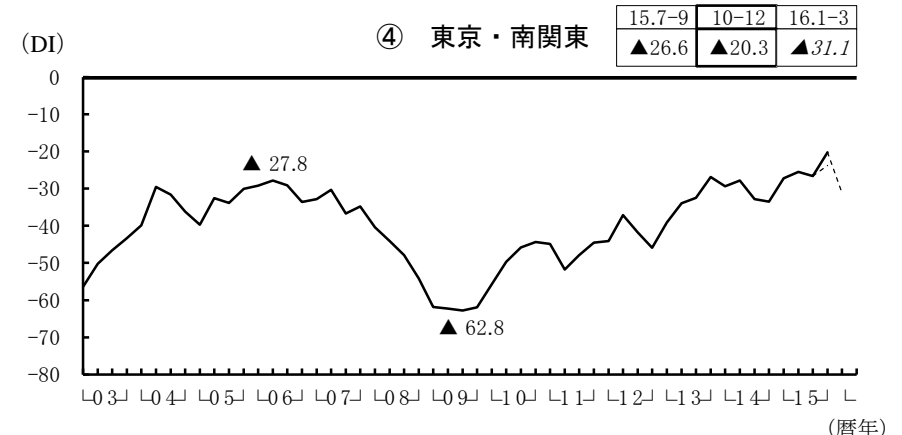
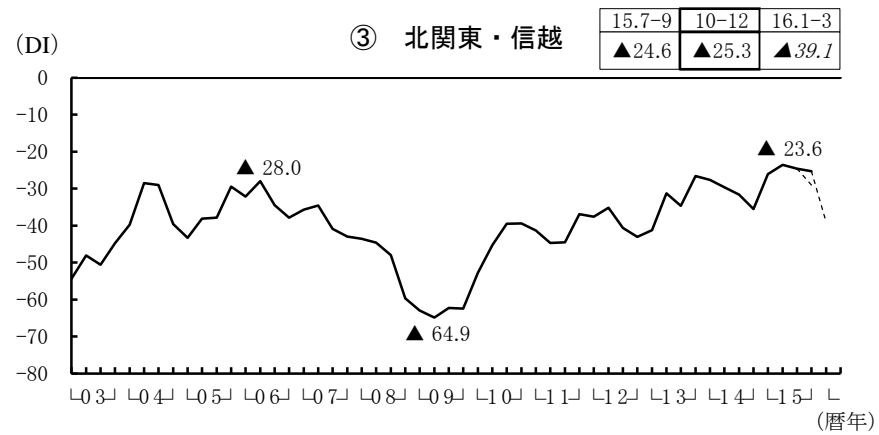
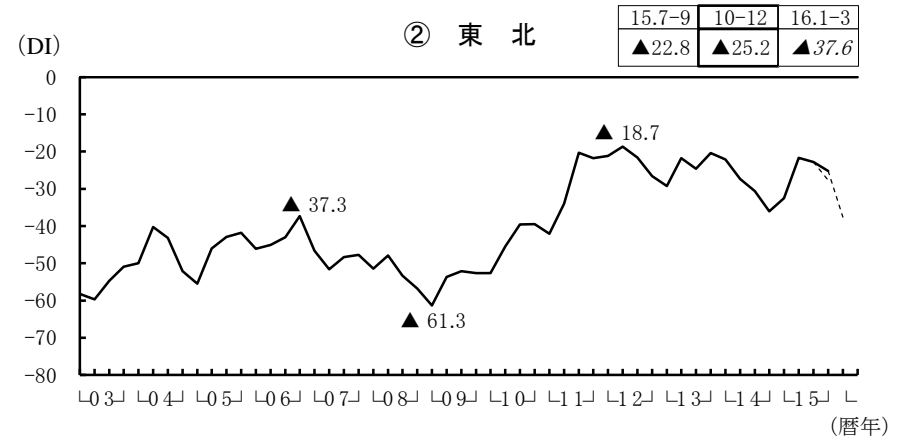
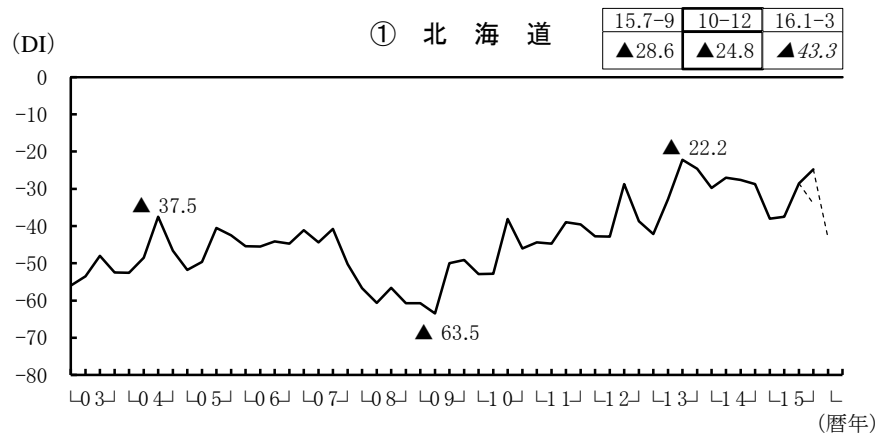


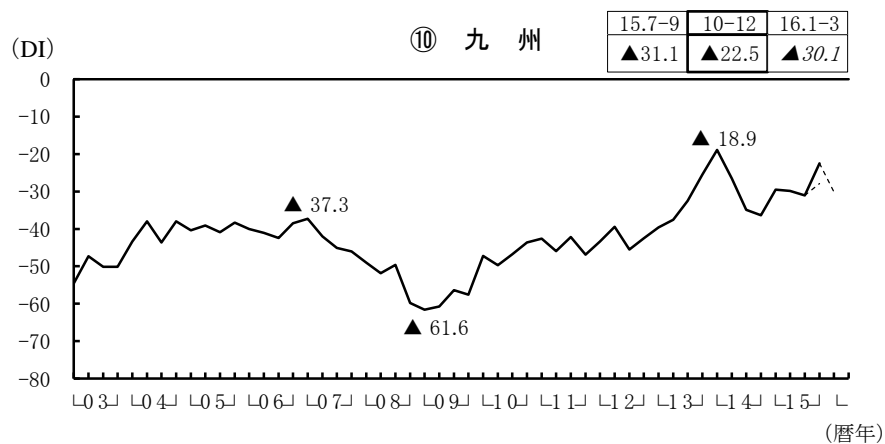
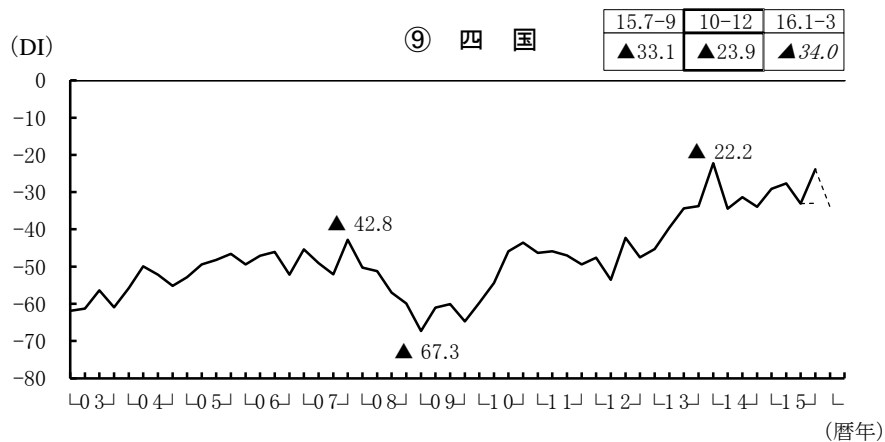
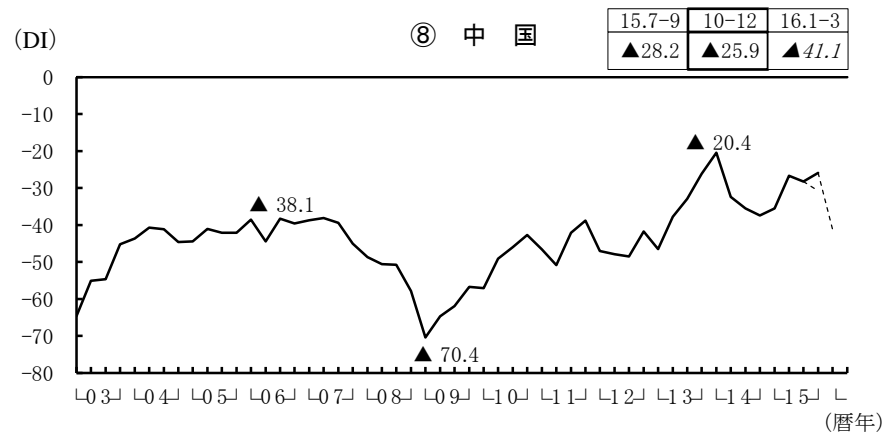
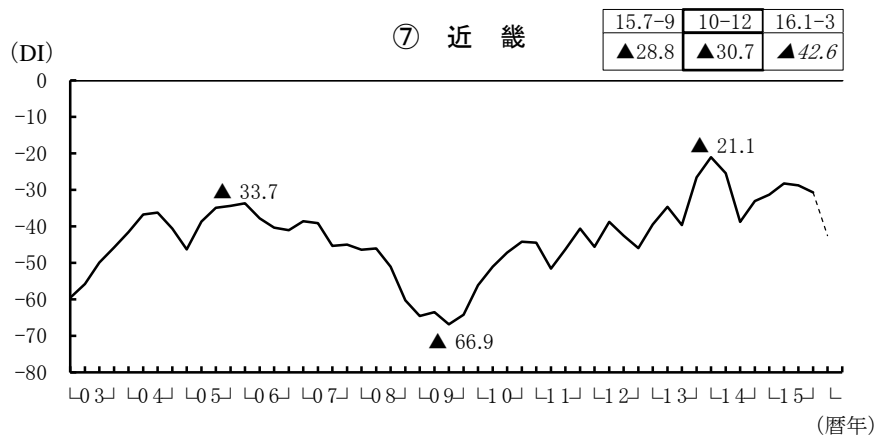
(参考1) 個人向けサービス業と事業所向けサービス業の業況判断DIの推移



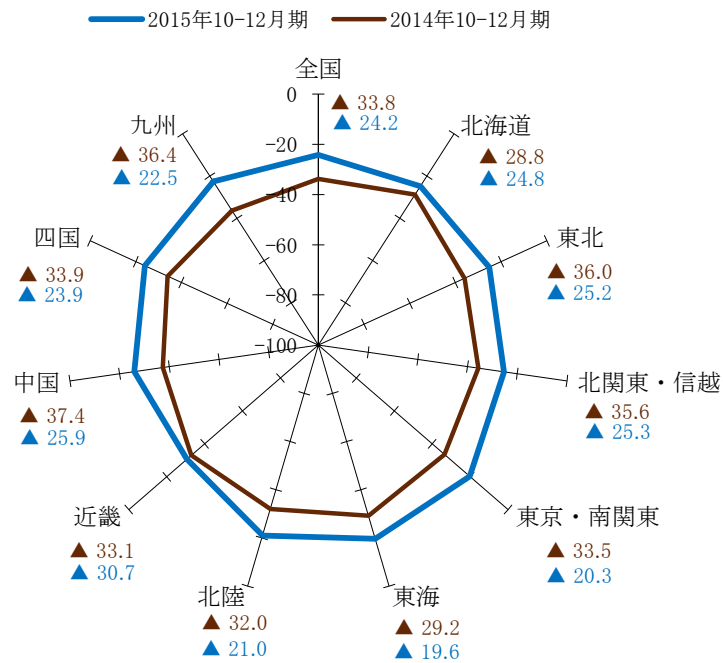
(注) 各業種の値は、上段が1年前、下段が今期を示している。

図-3 地域別業況判断DIの推移





(参考) 1年前 (2014年10-12月期) の水準との比較

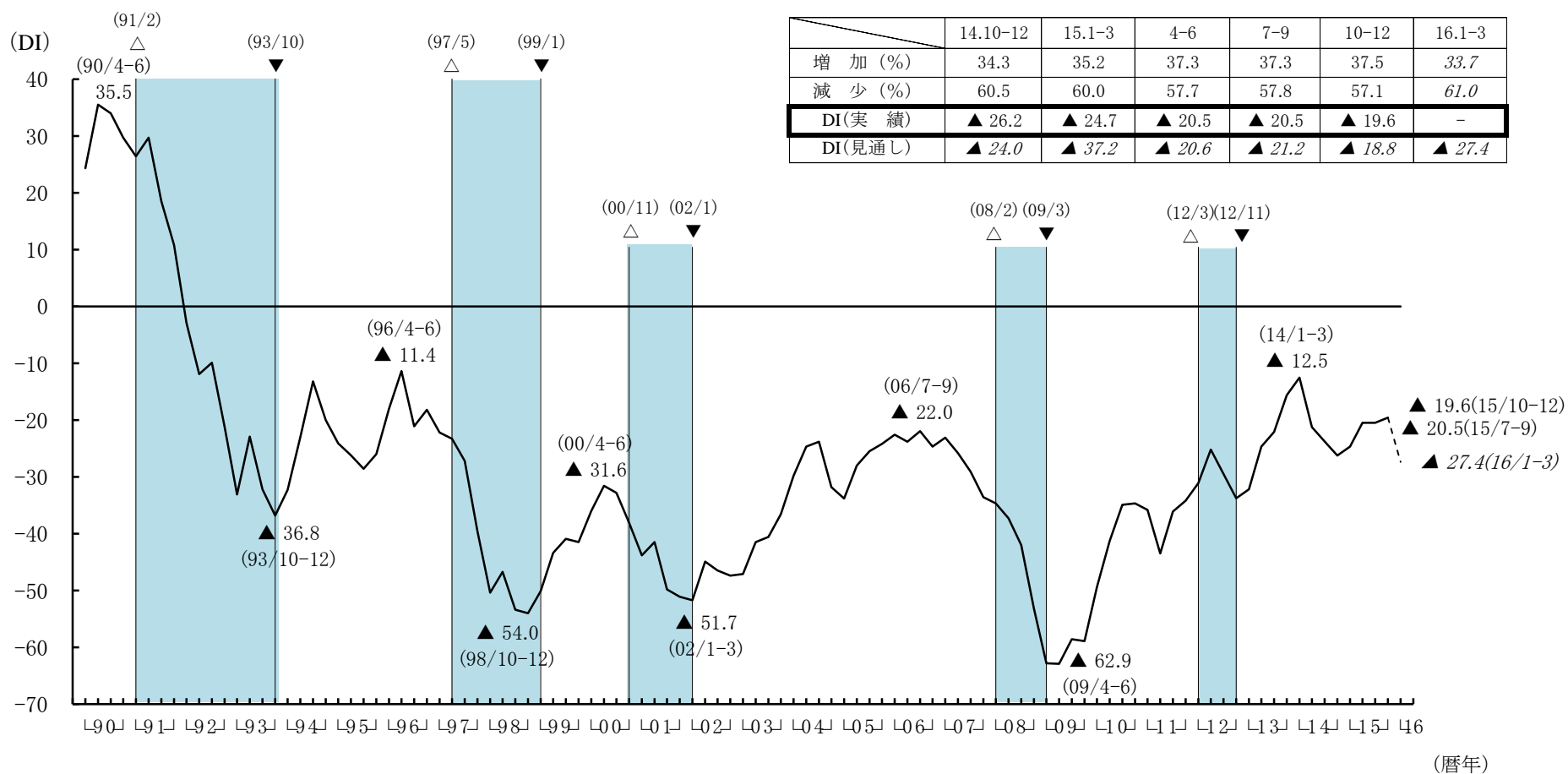


(注) 各地域の値は、上段が1年前、下段が今期を示している。

## 2 売上

- 売上DI(全業種計)は、前回調査に比べてマイナス幅が0.9ポイント縮小し、▲19.6となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。

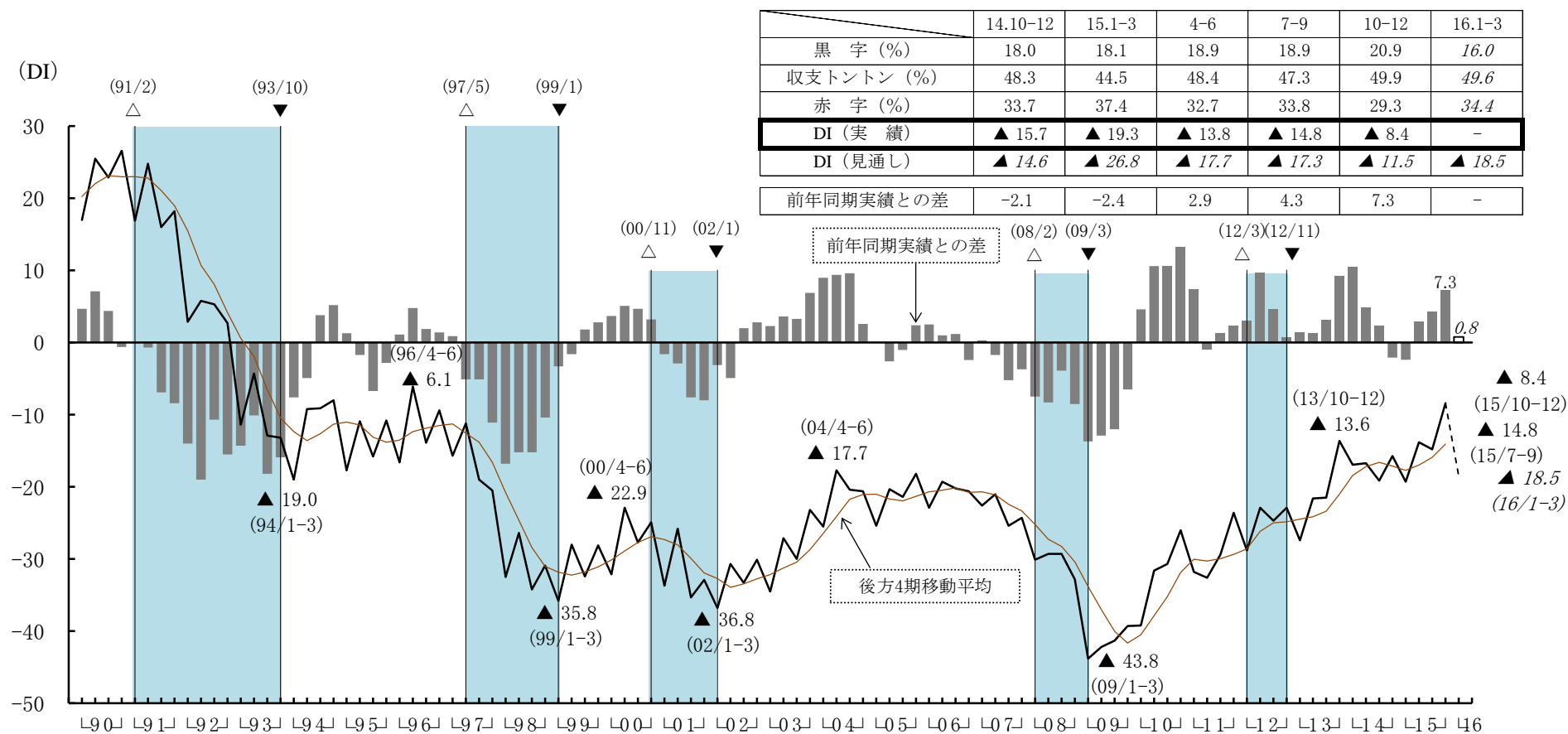
図－4 売上DIの推移（全業種計）



### 3 採 算

- 採算DI(全業種計)は、前回調査に比べてマイナス幅が6.4ポイント縮小し、▲8.4となった。前年同期実績と比べると、3期連続で上回っている。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。

図－5 採算DIの推移（全業種計）



(注) 1 DIは、「黒字」と回答した企業割合から「赤字」と回答した企業割合を差し引いた値。

2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。

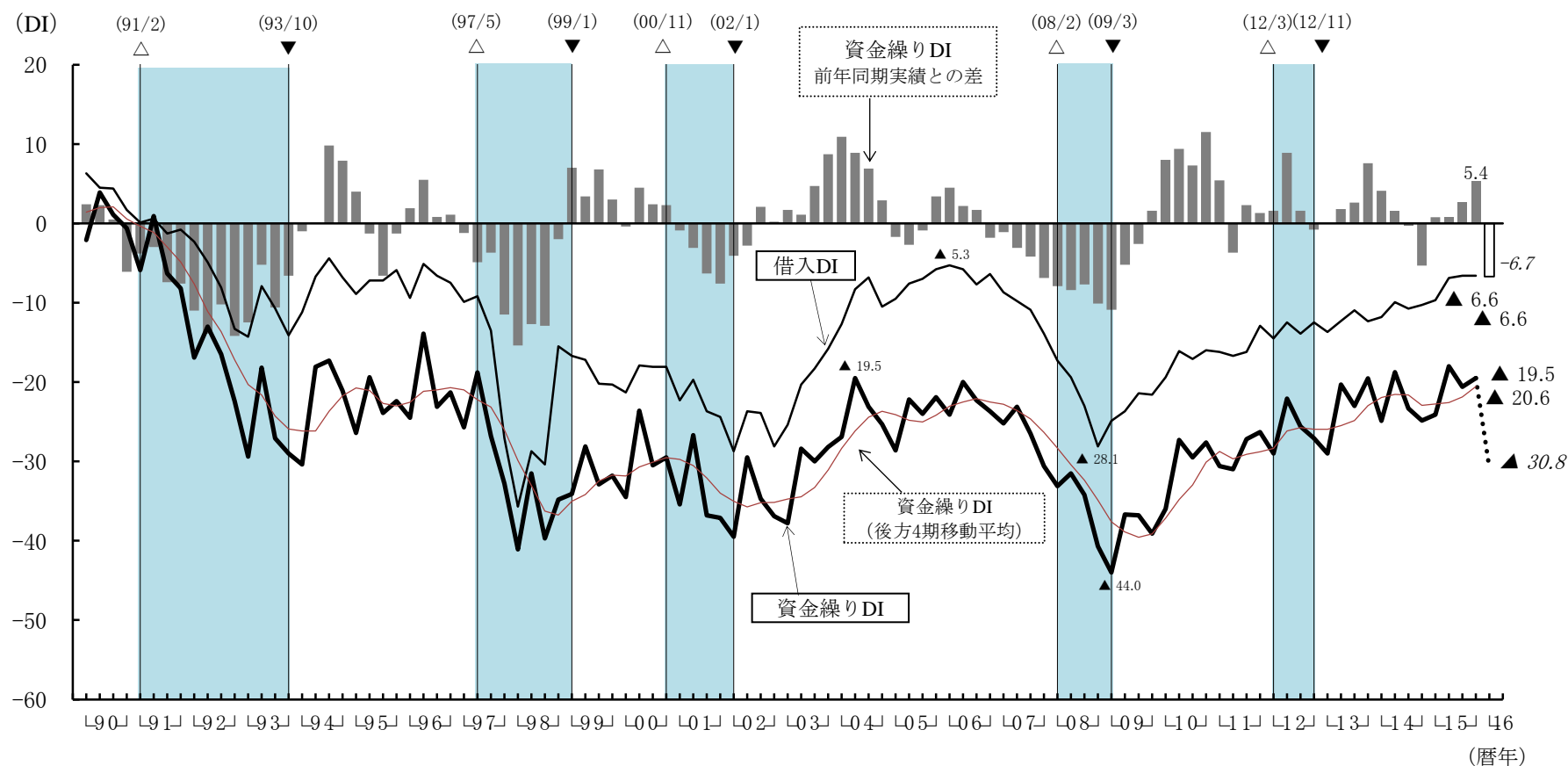
3 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

(暦年)

## 4 資金繰り、借入

- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、マイナス幅が1.1ポイント縮小し、▲19.5となった。来期は、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期から横ばいの▲6.6となった。

図－6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）

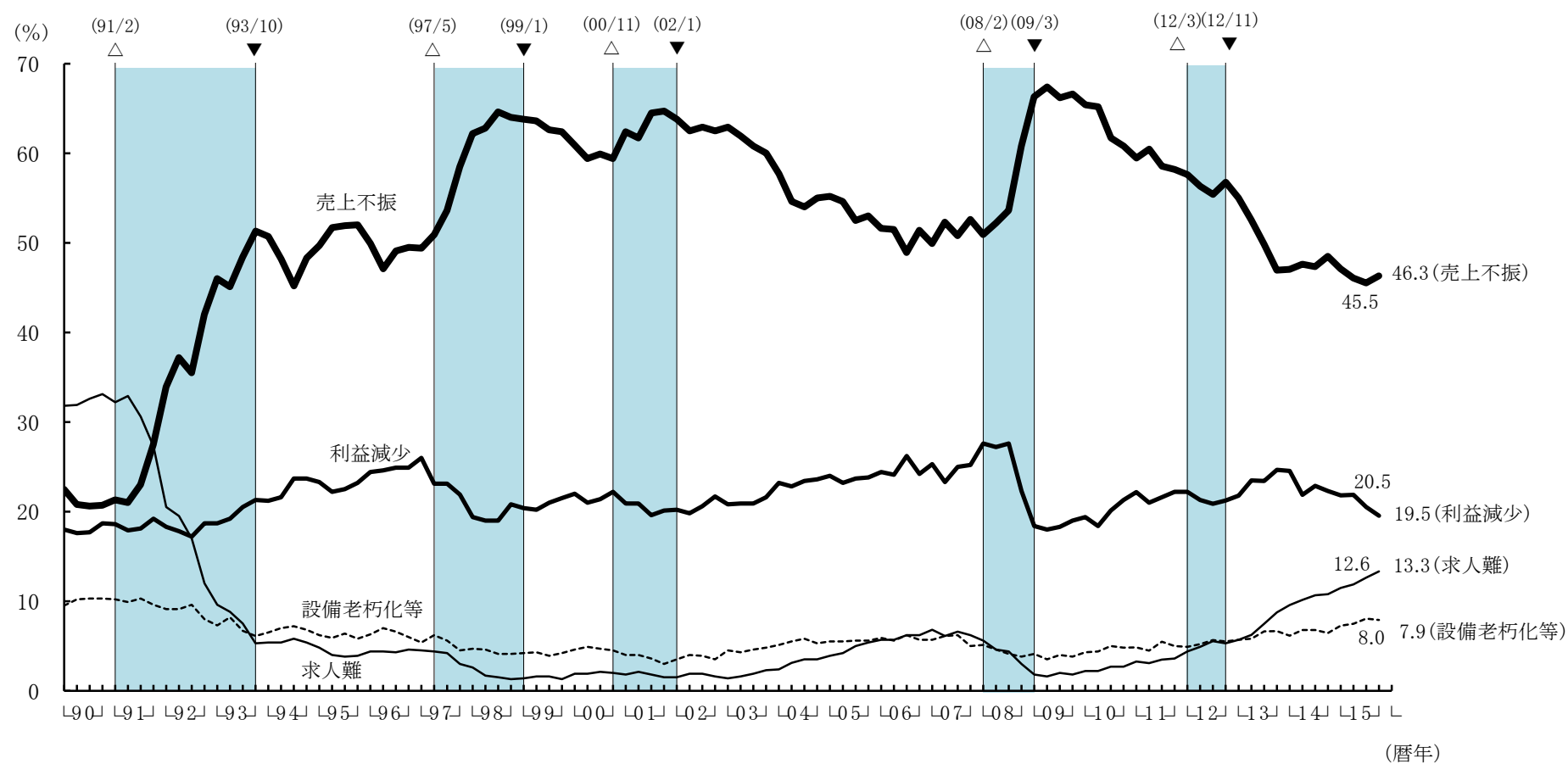


- (注) 1 資金繰りDIは、前期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 借入DIは、前期比で「容易になった」と回答した企業割合から「難しくなった」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 3 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 4 白抜き部分は見通しと前年同期実績との差。

## 5 経営上の問題点

○ 当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が46.3%と依然として最も多く、次いで、「利益減少」（19.5%）、「求人難」（13.3%）の順となっている。「求人難」は、12期連続で上昇している。

図－7 経営上の問題点の推移（全業種計、上位4項目）

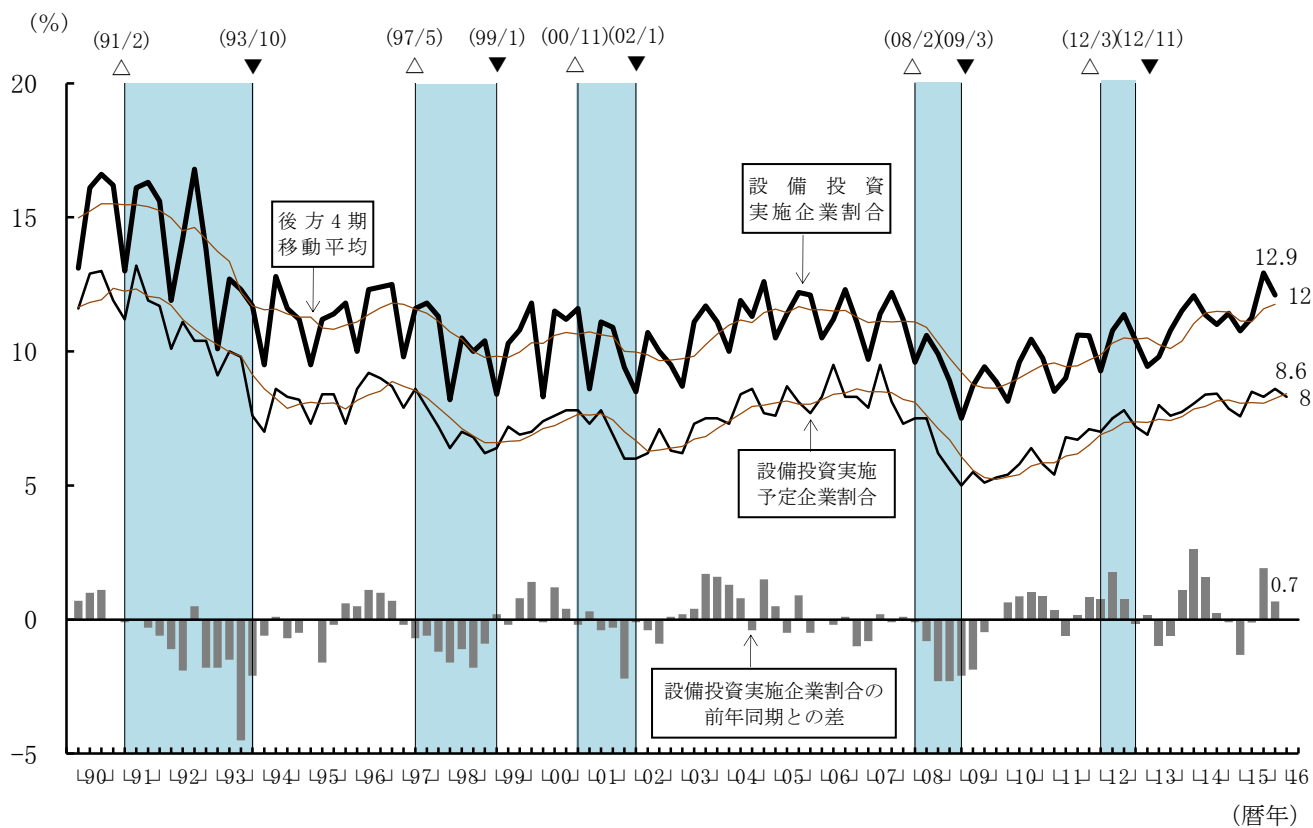


(注) 経営上の問題点（上位4項目）とは、当面の経営上の問題点について択一式で回答を求め、上位4位までを示したものの。

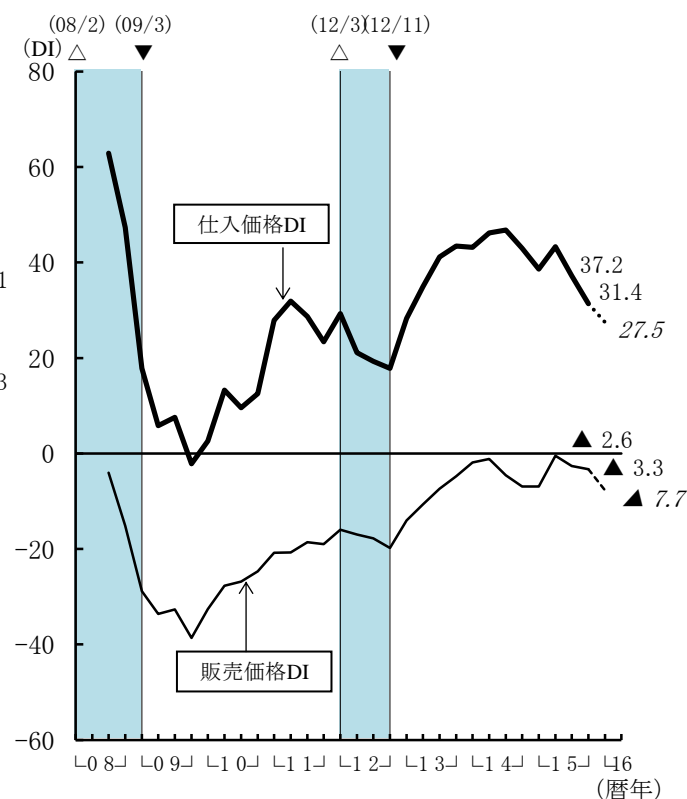
## 6 設備投資、価格動向

- 今期の設備投資実施企業割合（全業種計）は、0.8ポイント低下し、12.1%となった。
- 今期の販売価格DI（全業種計）は、マイナス幅が0.7ポイント拡大し、▲3.3となった。来期も、マイナス幅が拡大する見通しとなっている。
- 今期の仕入価格DI（全業種計）は、5.8ポイント低下し、31.4となった。来期も、低下する見通しとなっている。

図－8 設備投資実施企業、実施予定企業割合の推移（全業種計）



図－9 販売価格DI、仕入価格DIの推移（全業種計）



- (注) 1 DIは、前年同期比で「上昇」と回答した企業割合から「低下」と回答した企業割合を差し引いた値。  
 2 ——— は実績、----- は見通し。斜体は見通しの値を示している。  
 3 2008年7-9月期から調査を実施。



# 中 小 企 業 編

(2015年10－12月期実績、2016年1－3月期、および4－6月期見通し)

## 中小企業の景況は、緩やかに回復している

### [概況]

- ・業況判断DIは、前期（2015年7－9月期）から上昇し4.9となった。上昇は3期連続である。来期（2016年1－3月期）は上昇して9.2になり、来々期（2016年4－6月期）は10.5になる見通しである。
- ・売上DIは、3期ぶりに低下し、5.5となった。来期は上昇して14.0になり、来々期は17.5になる見通しである。
- ・純益率DIは、3期連続で上昇し、1.1となった。来期は1.0に低下し、来々期は2.0に上昇する見通しである。
- ・販売価格DIは、6期連続で低下し、1.3となった。来期は低下、来々期は上昇する見通しである。
- ・仕入価格DIは、6期連続で低下し、24.6となった。来期は低下、来々期は上昇する見通しである。
- ・資金繰りDI、長期借入難易DI、短期借入難易DIは、いずれも前期から上昇した。

## [調査の実施要領]

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| 調 査 時 点   | 2015年12月中旬                 |
| 調 査 対 象   | 当公庫取引先（原則従業員20人以上） 12,800社 |
| 有 効 回 答 数 | 5,818 社 [回答率 45.5 %]       |

### <業 種 構 成>

|            | 調 査 対 象 | 有 効 回 答 数 |      |         |
|------------|---------|-----------|------|---------|
| 製 造 業      | 5,278 社 | 2,465 社   | (構成比 | 42.4 %) |
| 鉱 業        | 25 社    | 12 社      | ( 同  | 0.2 %)  |
| 建 設 業      | 1,028 社 | 539 社     | ( 同  | 9.3 %)  |
| 運送業(除水運)   | 672 社   | 320 社     | ( 同  | 5.5 %)  |
| 水 運 業      | 143 社   | 70 社      | ( 同  | 1.2 %)  |
| 倉 庫 業      | 83 社    | 46 社      | ( 同  | 0.8 %)  |
| 情 報 通 信 業  | 251 社   | 93 社      | ( 同  | 1.6 %)  |
| ガ ス 供 給 業  | 19 社    | 10 社      | ( 同  | 0.2 %)  |
| 不 動 産 業    | 867 社   | 335 社     | ( 同  | 5.8 %)  |
| 宿泊・飲食サービス業 | 491 社   | 189 社     | ( 同  | 3.2 %)  |
| 卸 売 業      | 1,803 社 | 839 社     | ( 同  | 14.4 %) |
| 小 売 業      | 966 社   | 406 社     | ( 同  | 7.0 %)  |
| サ ー ビ ス 業  | 1,174 社 | 494 社     | ( 同  | 8.5 %)  |

### (参 考)

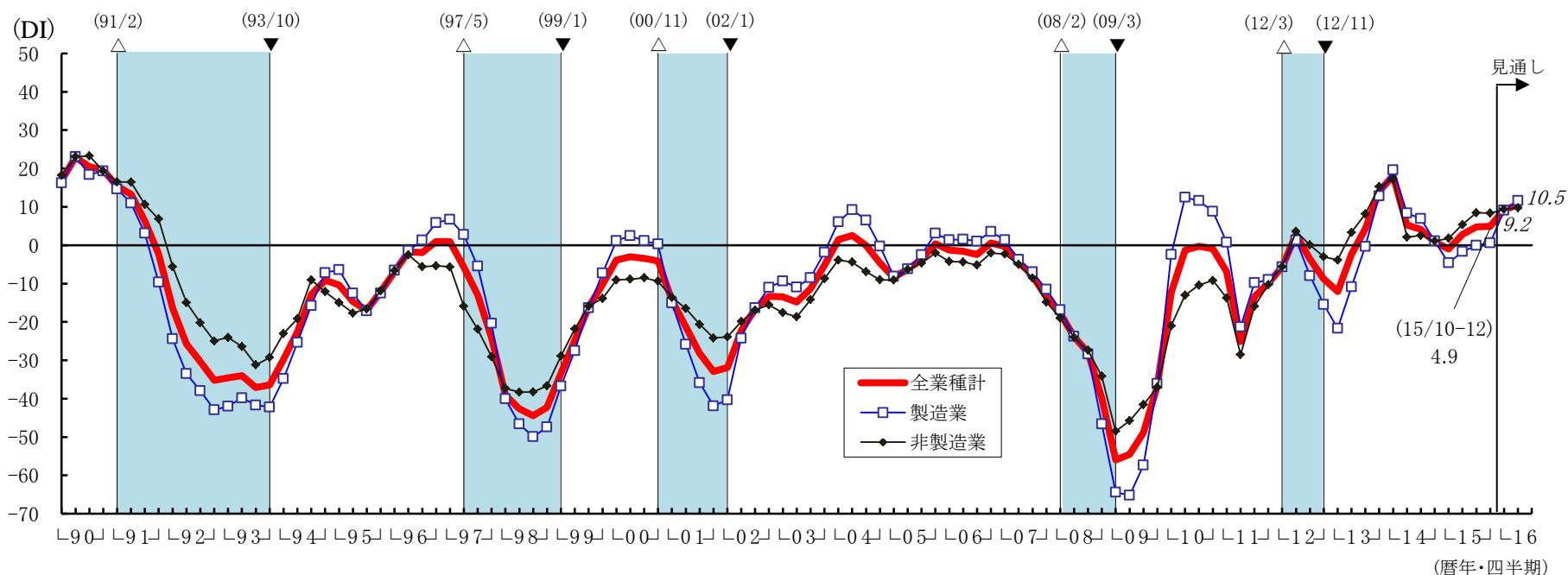
|     |                         |         |      |         |
|-----|-------------------------|---------|------|---------|
| 資本金 | 100 万 円 未 満             | 41 社    | (構成比 | 0.7 %)  |
| 同   | 100 万 ~ 300 万 円 未 満     | 79 社    | ( 同  | 1.4 %)  |
| 同   | 300 万 ~ 1,000 万 円 未 満   | 479 社   | ( 同  | 8.2 %)  |
| 同   | 1,000 万 ~ 5,000 万 円 未 満 | 3,835 社 | ( 同  | 65.9 %) |
| 同   | 5,000 万 円 ~ 1 億 円 未 満   | 1,091 社 | ( 同  | 18.8 %) |
| 同   | 1 億 ~ 3 億 円 未 満         | 231 社   | ( 同  | 4.0 %)  |
| 同   | 3 億 円 以 上               | 62 社    | ( 同  | 1.1 %)  |

# 1 業況判断

- 今期（2015年10－12月期）の業況判断DIは、前期（2015年7－9月期）から0.2ポイント上昇し、4.9となった。上昇は3期連続である。
- 来期（2016年1－3月期）は9.2に、来々期（2016年4－6月期）は10.5に上昇する見通しである。

図－1 業況判断DIの推移（季節調整値）

|                | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 | 2015/10-12 (前回見通し) | 2016/1-3 (前回見通し) | 2016/4-6 |
|----------------|------------|----------|----------|----------|--------------------|------------------|----------|
| 業況判断DI (季節調整値) | 0.8        | ▲ 1.0    | 2.8      | 4.7      | 4.9 ( 4.2)         | 9.2 ( 7.1)       | 10.5     |
| 製 造 業          | 1.1        | ▲ 4.6    | ▲ 1.6    | ▲ 0.1    | 0.6 ( 2.2)         | 9.1 ( 7.6)       | 11.6     |
| 非 製 造 業        | 1.1        | 1.8      | 5.4      | 8.5      | 8.4 ( 5.6)         | 9.4 ( 7.0)       | 9.7      |



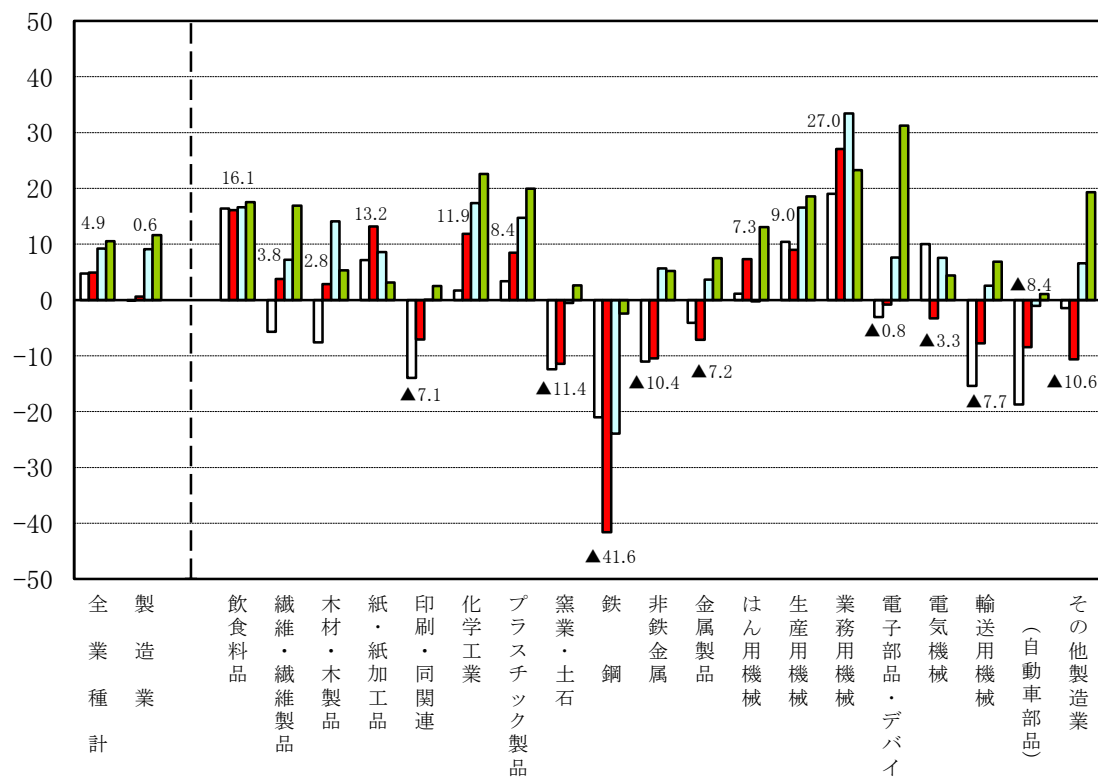
(注) 1 業況判断DIは、調査対象企業の業況が前年同期比で「好転」と回答した企業割合から「悪化」と回答した企業割合を差し引いた値（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

- 今期の業況判断DIを業種別にみると、製造業は、はん用機械、生産用機械、業務用機械など機械関連の業種や、飲食料品などで引き続きプラス水準となった。また、紙・紙加工品、化学工業、プラスチック製品などではプラス幅が拡大した。一方、鉄鋼、非鉄金属、窯業・土石など素材関連の業種を中心に、引き続きマイナス水準となった。来期以降は、多くの業種でプラス水準となる見通しである。
- 非製造業は、情報通信業、運送業、宿泊・飲食サービス業など、多くの業種でDIはプラス水準となった。来期以降も、多くの業種でプラス水準が続く見通しである。

図－2 業種別業況判断DIの推移（季節調整値）

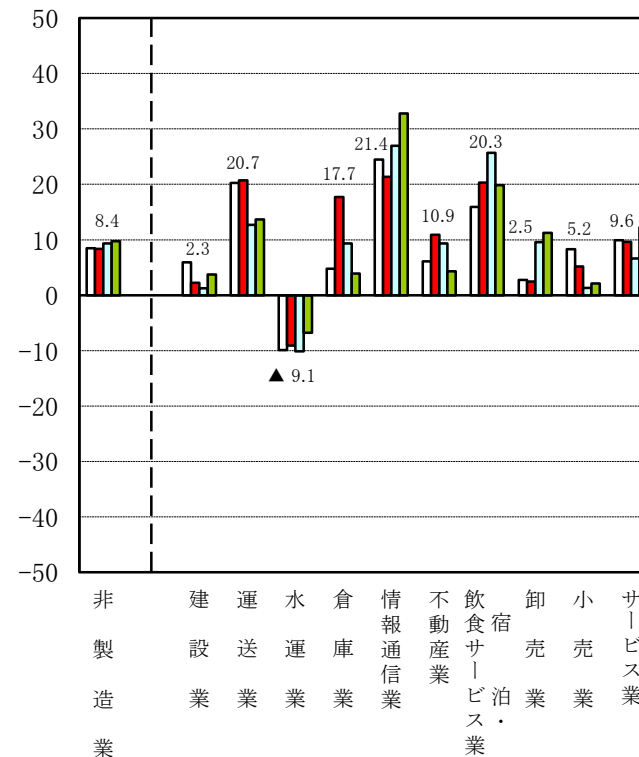


－製造業－  
(DI)



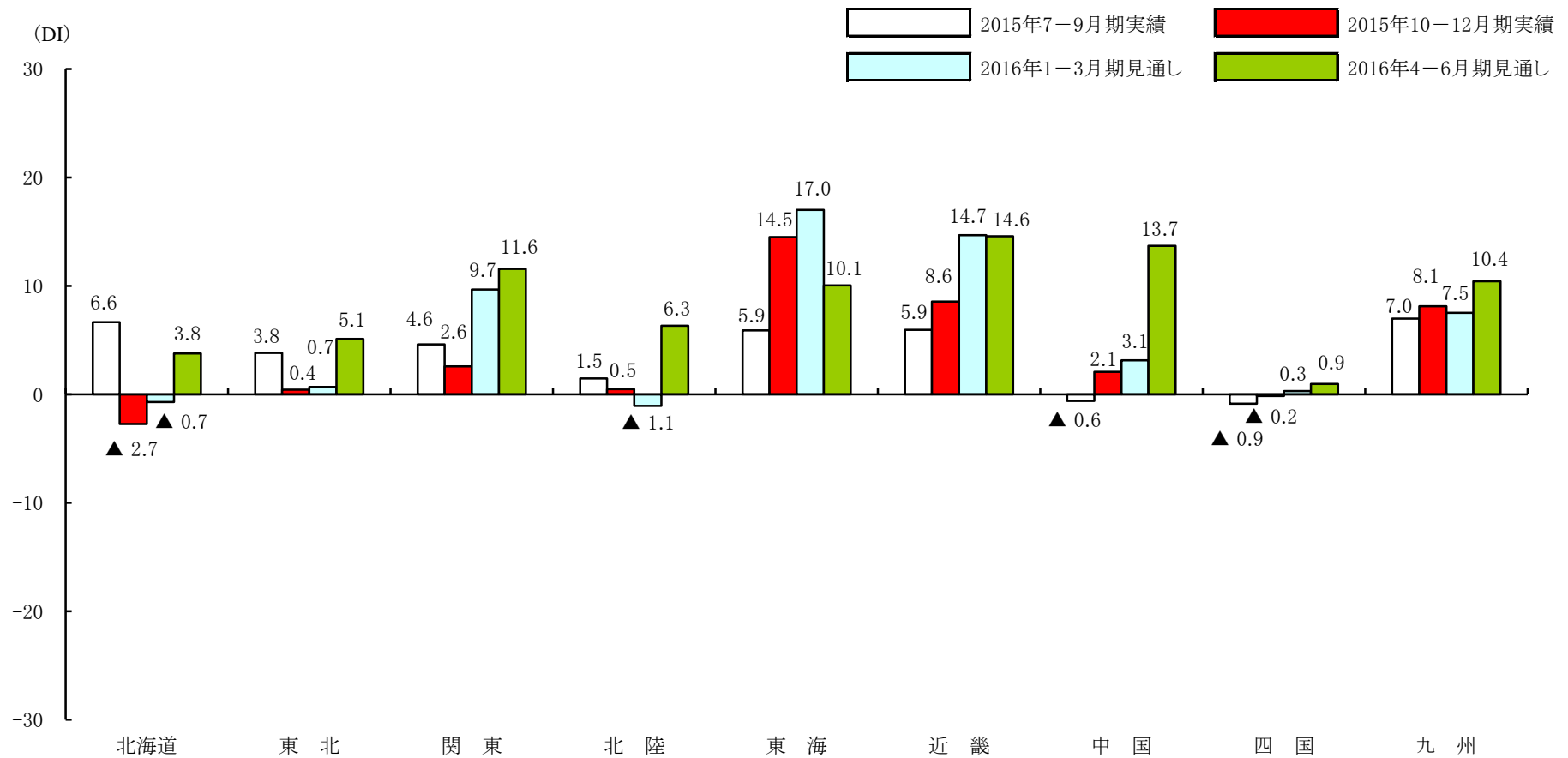
(注) 図中の数字は、今期の実績値を示す。

－非製造業－  
(DI)



- 業況判断DIを地域別にみると、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国、九州の7地域でプラス水準となっている。
- 来期は7地域で、来々期は全地域でプラス水準となる見通しである。

図－3 地域別業況判断DI（季節調整値）

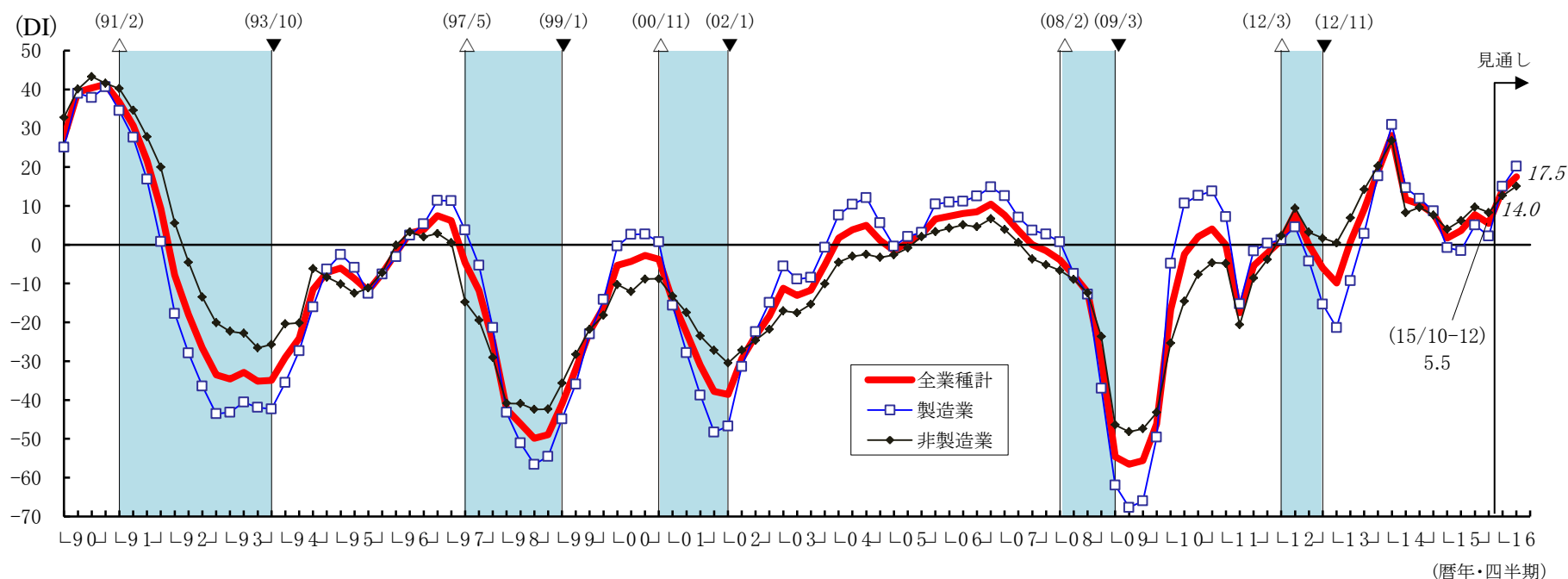


## 2 売 上

- 今期の売上DIは、前期から2.3ポイント低下し5.5となった。低下は3期ぶりである。
- 来期は上昇して14.0になり、来々期は17.5になる見通しである。

図－4 売上DIの推移（季節調整値）

|              | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 | 2015/10-12 (前回見通し) | 2016/1-3 (前回見通し) | 2016/4-6 |
|--------------|------------|----------|----------|----------|--------------------|------------------|----------|
| 売上DI (季節調整値) | 7.9        | 1.7      | 3.6      | 7.8      | 5.5 ( 10.2)        | 14.0 ( 13.1)     | 17.5     |
| 製 造 業        | 8.7        | ▲ 0.8    | ▲ 1.5    | 5.0      | 2.2 ( 9.1)         | 15.0 ( 13.3)     | 20.2     |
| 非 製 造 業      | 7.6        | 4.0      | 6.2      | 9.7      | 8.3 ( 10.5)        | 12.7 ( 12.7)     | 15.1     |



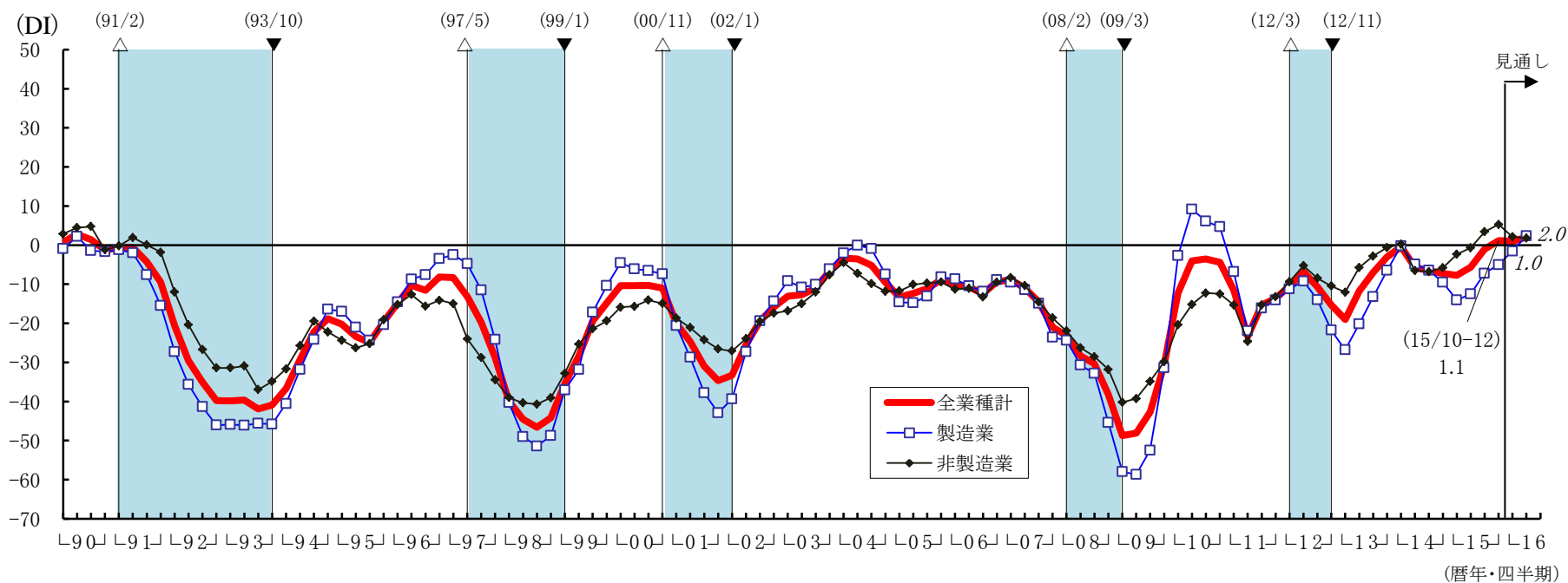
- (注) 1 売上DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

### 3 利益

- 今期の純益率DIは、前期から2.1ポイント上昇し1.1となった。上昇は3期連続である。
- 来期は1.0に低下し、来々期は2.0に上昇する見通しである。

図－5 純益率DIの推移（季節調整値）

|               | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 | 2015/10-12 (前回見通し) | 2016/1-3 (前回見通し) | 2016/4-6 |
|---------------|------------|----------|----------|----------|--------------------|------------------|----------|
| 純益率DI (季節調整値) | ▲ 7.2      | ▲ 7.7    | ▲ 5.7    | ▲ 1.0    | 1.1 (▲ 2.0)        | 1.0 (▲ 0.4)      | 2.0      |
| 製 造 業         | ▲ 9.5      | ▲ 14.1   | ▲ 12.5   | ▲ 7.2    | ▲ 5.0 (▲ 5.9)      | ▲ 1.5 (▲ 2.9)    | 2.3      |
| 非 製 造 業       | ▲ 5.8      | ▲ 2.4    | ▲ 0.7    | 3.4      | 5.3 ( 1.3)         | 2.1 ( 1.8)       | 1.8      |



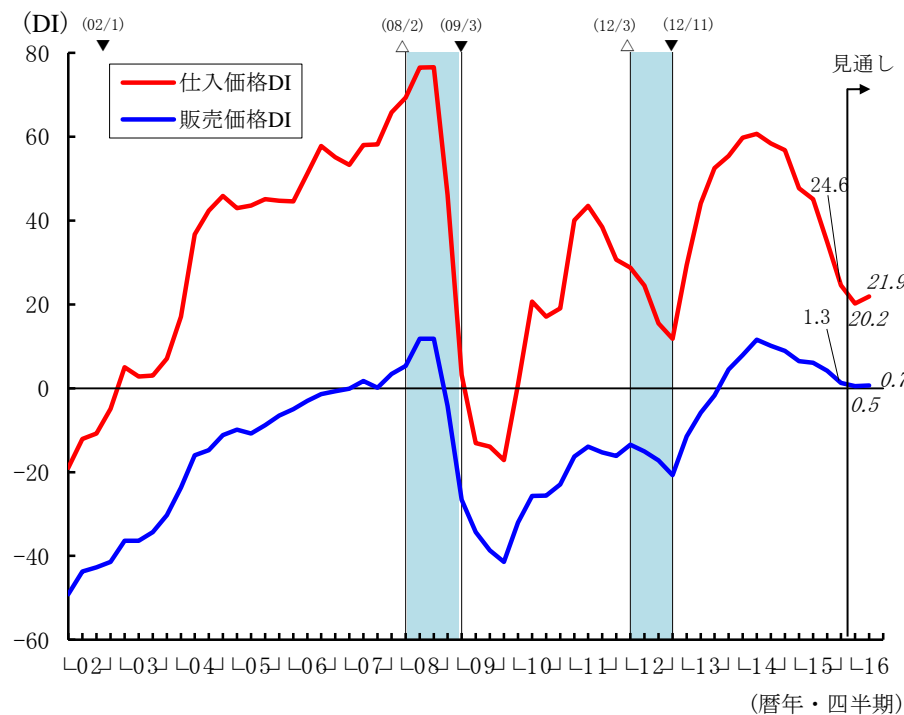
- (注) 1 純益率DIは、前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（季節調整値）。  
 2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

## 4 価格、金融関連

- 今期の販売価格DIは、2.9ポイント低下し1.3となった。仕入価格DIは、10.3ポイント低下し24.6となった。低下はいずれも6期連続である。来期は、販売価格DI、仕入価格DIともに低下、来々期は上昇する見通しとなっている。
- 今期の資金繰りDI、長期借入難易DI、短期借入難易DIは、いずれも前期から上昇した。

図－6 価格関連DIの推移（原数値）

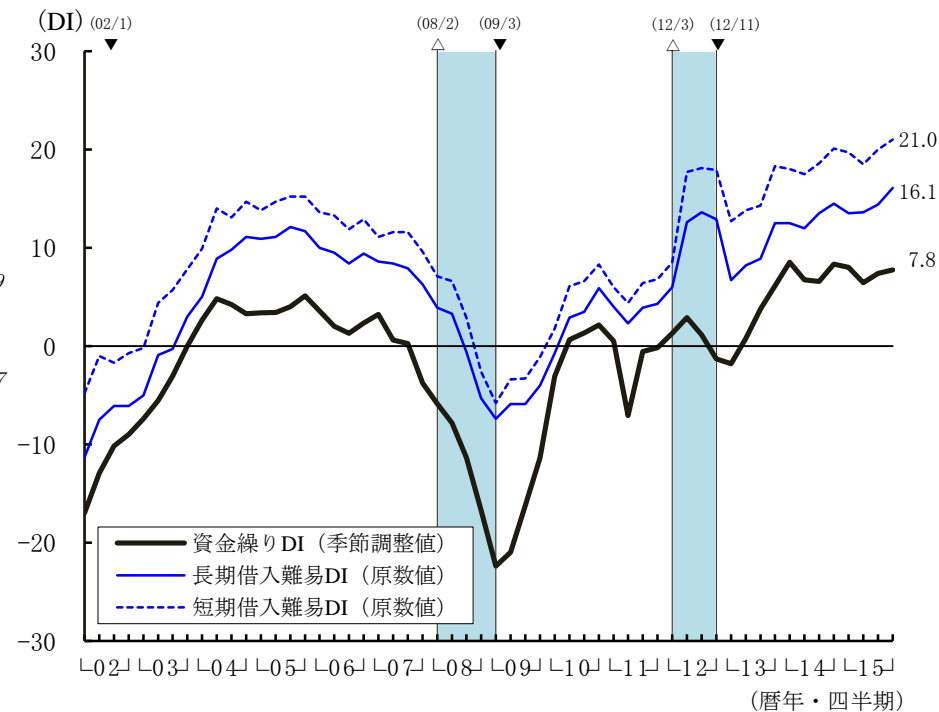
|        | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 | 2015/10-12 | 2016/1-3 | 2016/4-6 |
|--------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|
| 販売価格DI | 8.9        | 6.5      | 6.1      | 4.2      | 1.3        | 0.5      | 0.7      |
| 仕入価格DI | 56.8       | 47.7     | 45.1     | 34.9     | 24.6       | 20.2     | 21.9     |



- (注) 1 仕入価格DI、販売価格DIともに前年同期比で「上昇」企業割合－「低下」企業割合（原数値）。  
2 図中の数字は今期実績および見通し（斜体）の値を示す。

図－7 金融関連DIの推移

|               | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 | 2015/10-12 |
|---------------|------------|----------|----------|----------|------------|
| 資金繰りDI（季節調整値） | 8.3        | 8.0      | 6.4      | 7.4      | 7.8        |
| 長期借入難易DI（原数値） | 14.5       | 13.5     | 13.6     | 14.4     | 16.1       |
| 短期借入難易DI（原数値） | 20.1       | 19.7     | 18.5     | 20.0     | 21.0       |



- (注) 1 資金繰りDIは、前年同期比で「好転」企業割合－「悪化」企業割合（季節調整値）。  
2 借入難易DIは、前年同期比で「容易」企業割合－「困難」企業割合（原数値）。  
3 図中の数字は今期の実績値を示す。

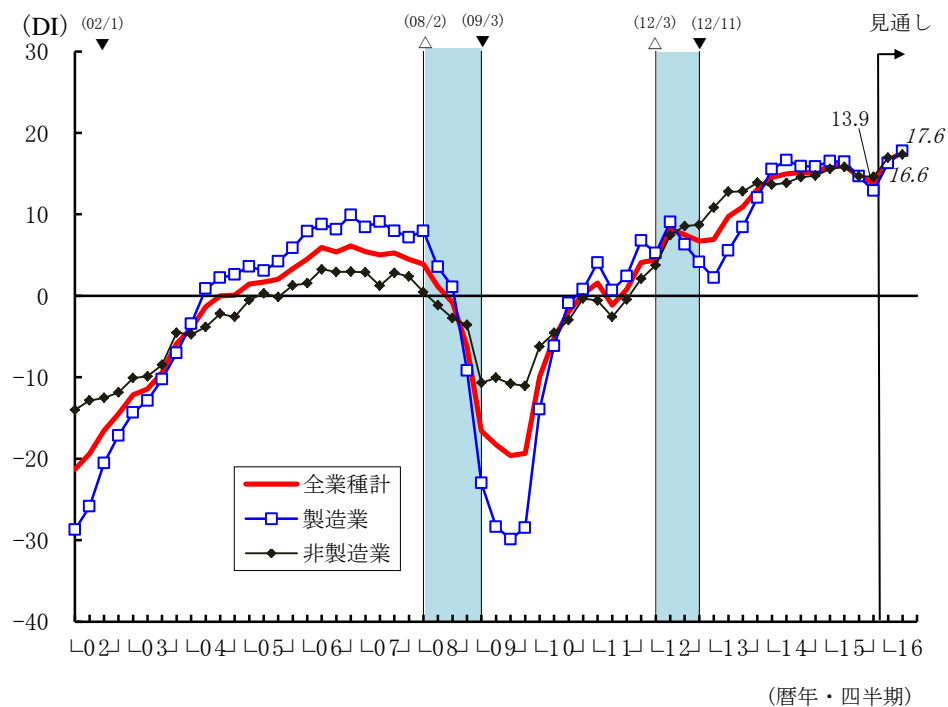


## 5 雇用、設備

- 今期の従業員DIは前期から低下し13.9となった。来期は上昇する見通しである。
- 今期の設備投資実施企業割合は、40.6%となった。

図－8 従業員DIの推移（季節調整値）

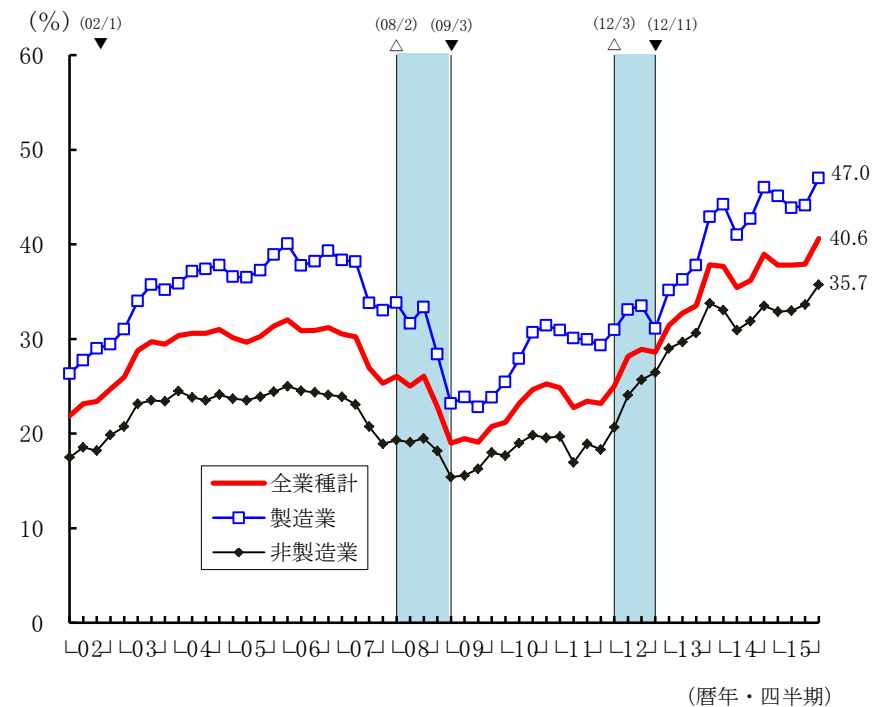
|      | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 | 2015/10-12 | 2016/1-3 | 2016/4-6 |
|------|------------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|
| 全業種計 | 15.2       | 15.9     | 16.0     | 14.6     | 13.9       | 16.6     | 17.6     |
| 製造業  | 15.9       | 16.5     | 16.4     | 14.7     | 12.9       | 16.3     | 17.8     |
| 非製造業 | 14.7       | 15.6     | 15.8     | 14.7     | 14.6       | 17.0     | 17.3     |



(注) 1 従業員DIは、前年同期比で「増加」企業割合－「減少」企業割合（季節調整値）。  
2 図中の数字は全業種計の値。斜体は見通しの値を示す。

図－9 設備投資実施企業割合の推移（季節調整値）

|      | 2014/10-12 | 2015/1-3 | 2015/4-6 | 2015/7-9 | 2015/10-12 |
|------|------------|----------|----------|----------|------------|
| 全業種計 | 39.0       | 37.8     | 37.8     | 37.9     | 40.6       |
| 製造業  | 46.0       | 45.1     | 43.9     | 44.1     | 47.0       |
| 非製造業 | 33.5       | 32.9     | 33.0     | 33.6     | 35.7       |



(注) 図中の数字は今期の実績値を示す。

## 6 経営上の問題点

- 当面の経営上の問題点をみると、「売上・受注の停滞、減少」が38.9%と最も多く、次いで、「求人難」(24.1%)、「原材料高」(8.0%)となっている。
- 前回調査と比べると、「求人難」は1.8ポイント上昇した一方、「売上・受注の停滞、減少」は0.9ポイント、「原材料高」は1.3ポイント低下した。

図-10 経営上の問題点の推移

